

ファームウェアダウングレード手順(R110j-1、Red Hat Enterprise Linux 7.5編)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

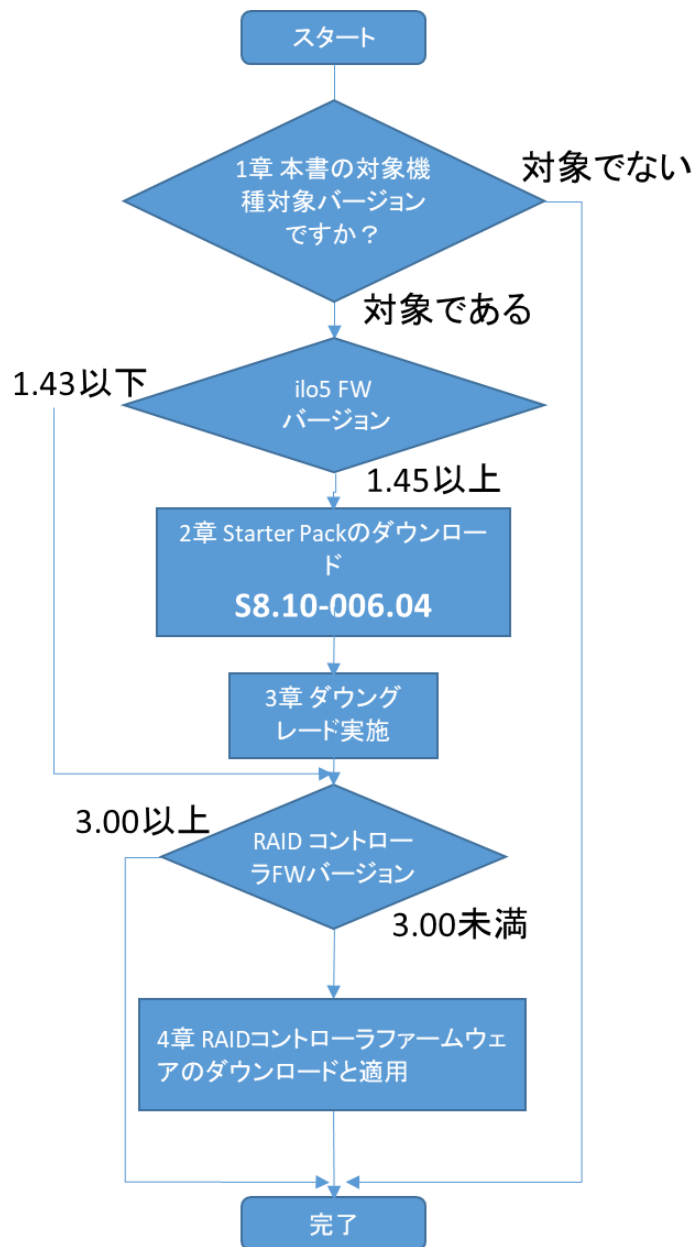
- ※ **本書の目的** 本書は対象装置(以下、サーバー)にExpress5800/R110j-1にRed Hat Enterprise Linux(以下RHEL)7.5を新規インストールする際に必要なファームウェアダウングレード手順を示します。
- ※ **対象** 本書は以下のa)～b)のすべてを満たす場合を対象とします。下記条件を1つでも満たさない場合は、本書の手順を適用しないでください。
 - a) 対象型番に該当する(本ページの対象型番参照)
 - b) RHEL7.5を新規インストールする
- ※ **補足** 本書の対象装置にRHEL7.6以降をインストールする場合、はじめにRHEL7.5をインストールし、その後、RHELのアップグレードを実施する必要があります。本書を参照してファームウェアダウングレードを実施し、RHEL7.5をインストールし、その後にRHELのアップグレードを実施してください。

Red Hat Enterprise Linuxをインストールする場合、次ページのフローチャートに従い、ファームウェアのダウングレード、RAIDコントローラファームウェアのアップデートを実施してください。

対象型番： 以下の型番のみが適用対象となります。2nd-Genは適用対象外です。下記型番以外の装置には本書を適用しないでください。

Express5800/R110j-1 : N8100-2766Y, N8100-2767Y

[手順フロー]



【 注意事項 】

- 本書の手順を実施することで、「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の設定が初期設定に戻ります。RBSUの設定を変更している場合は、本手順を実施する前にRBSUの設定値を記録し、ファームウェアのダウングレード後に再設定してください。設定方法の詳細は、本体装置のユーザズガイドおよびメンテナンスガイドをご参照ください。
- 本書のダウングレード手順は、Red Hat Enterprise Linux 7.5をインストールする前に実施する必要があります。既にRed Hat Enterprise Linux 7.5をインストールした状態で、ダウングレードを実施することは出来ません。その場合は、ダウングレードを実施する前にRed Hat Enterprise Linux 7.5を削除する、もしくはダウングレードを実施した後にRed Hat Enterprise Linuxを新規(再)インストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linuxのインストール方法は、本体装置のインストールガイドをご確認ください。

1章 本書の対象機種、対象バージョンですか？

以下のa)b)の条件がすべて当てはまる場合にのみファームウェアのダウングレードが必要となります。
1つでも条件に当てはまらない場合、本書の対象ではありません。ダウングレードは行わないでください。

- a) **対象型番に該当する(表紙の対象型番参照)**
- b) **RHEL7.5を新規インストールする**

また、iLOファームウェアのバージョンで適用手順が変わります。iLO5のファームウェアバージョンを確認する方法は下記2通りあります。どちらか一方を実施します。

--- iLOファームウェアバージョン確認方法 ---

サーバーのローカルコンソールで確認する方法

1. サーバーの電源がONの場合は、シャットダウンして電源をOFFにします。
2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
3. サーバーの電源をONにします。POST画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「BMC Firmware Version」 → iLO5のファームウェアバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。

注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。

iLO Webインターフェースを利用して、リモートから確認する方法

1. iLO5の管理用ネットワークに接続できるPC端末を準備します。
2. PC端末のWebブラウザを起動し、iLO Webインターフェースに接続し、ログインします。
3. 左メニューの「ファームウェア & OSソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
4. iLO Webインターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO5 Firmware」 → iLO5のファームウェアバージョン
5. Webブラウザを終了し、iLO Webインターフェース画面を閉じます。

注) iLO Webインターフェースの操作方法は、iLO5ユーザズガイドを参照します。

2章 Starter Packのダウンロード

下記3点を準備します。

- インターネットに接続されたPC端末
- DVD-Rに書き込みができる光ディスクドライブ（PC端末内蔵の光ディスクドライブ可）
- DVD-R媒体1枚

注）iLOのリモートメディア機能を使用することで、DVD媒体を使用しなくてもStarter Packを適用することが出来ます。
（リモートメディア機能を利用するには、リモートマネジメント拡張ライセンス[N8115-33/-36]の購入が別途必要です）

（1）PC端末から以下のURLにアクセスし、Starter Packをダウンロードします。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-006.04

（<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108531>）

（2）（1）のURLにアクセスできない場合は、以下URLから検索しダウンロードします。

<https://jpn.nec.com/>

（「サポート情報」－「サーバー」－「PCサーバー(Express5800シリーズ)」－「修正情報・ダウンロード」>）」

“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-006.04” で検索

（3）Starter Pack掲載ページの【準備：Starter Pack DVDの作成】を参照し、DVDの作成を行います。

注）Starter Packは、本体装置の保証期間内もしくは保守契約期間内(ExpressSupportPack含む)であれば、無償でダウンロードすることが出来ます。

3章 ファームウェアのダウングレード手順

(事前準備)

ファームウェアのダウングレードにあたって、工場出荷時に設定されたUser Default設定(下記メニュー)について設定値を記録してください。ダウングレード後、再設定が必要な項目があります。

※ 工場出荷時設定から変更されている場合は、メンテナンスガイドにて工場出荷時設定を確認してください。

POST中に <F9> キーを押してシステムユーティリティに入り、

「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」以下の設定を確認し、本書内に記録してください。

a. Advanced Options > Fan and Thermal Options > Thermal Shutdown

☐ Enabled

☐ Disabled

b. Advanced Options > Fan and Thermal Options > Fan Failure Policy

☐ Shutdown/Halt on Critical Fan Failures

☐ Allow Operation with Critical Fan Failures

c. Date and Time > Time Format

☐ Coordinated Universal Time (UTC)

☐ Local Time

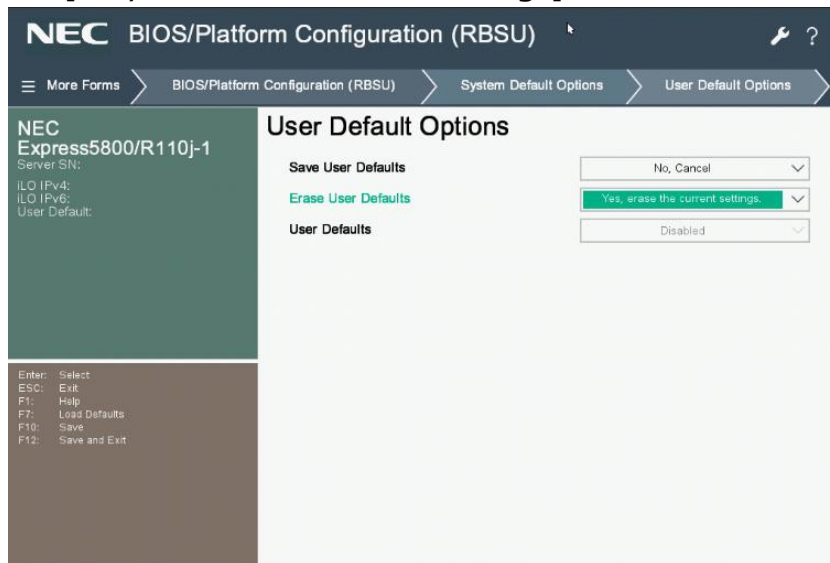
d. Date and Time > Time Zone

☐ UTC+ (:)

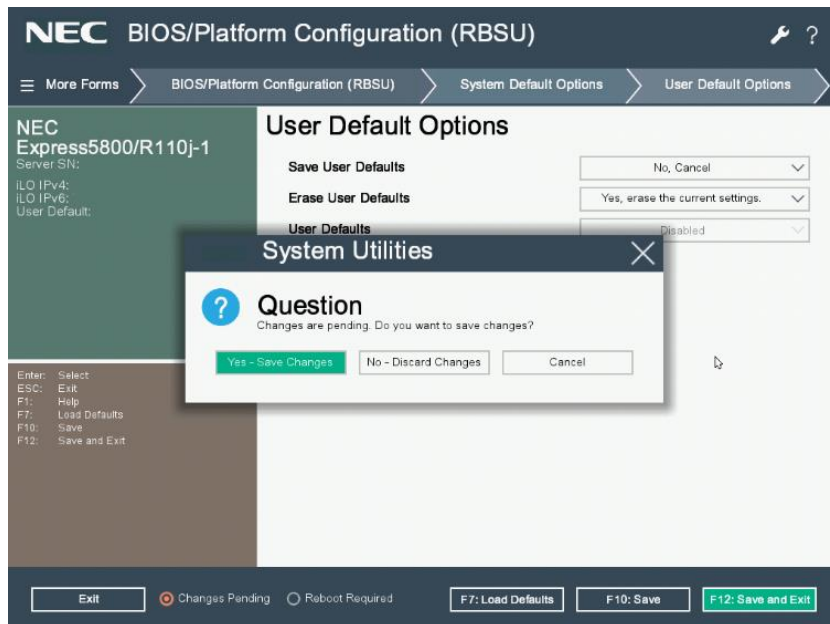
☐ Unspecified Time Zone

(1) 以下の手順により、User Default設定をクリアします。

「System Default Options > User Default Options > Erase User Defaults」を
[Yes, erase the current settings]に変更します。



変更後、<F12> キーを押してシステムユーティリティを終了し、サーバーを再起動します。



(2) 「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の設定のうち、デフォルトから変更した項目を記録します。設定をデフォルトに戻した後、各種ファームウェアのダウングレードを実施します。

(ダウングレード完了後に手順(20)にて記録した設定を再設定します。)

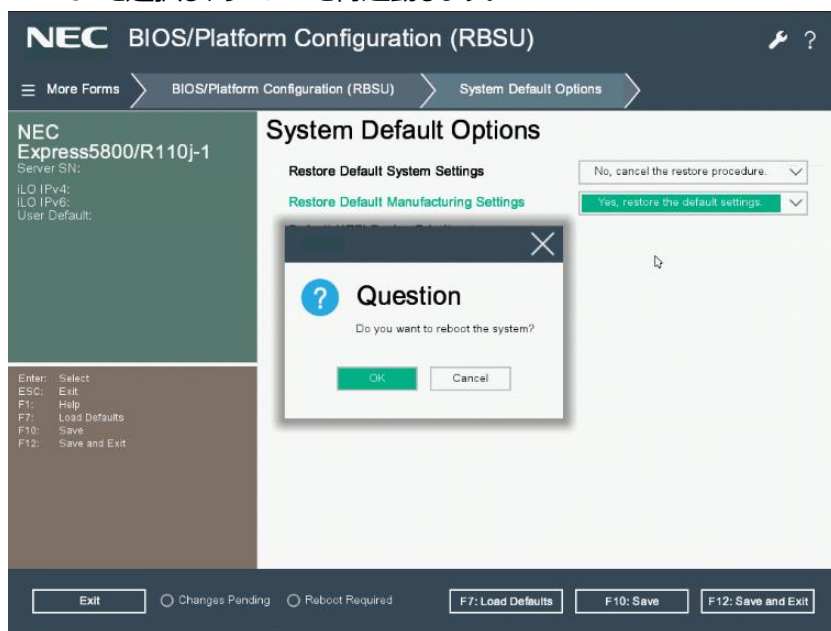
(3) セキュアブートを設定しているときは、以下の手順により、いったんセキュアブートを無効にします。

- 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
- 「Attempt Secure Boot」を「Disabled」に設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

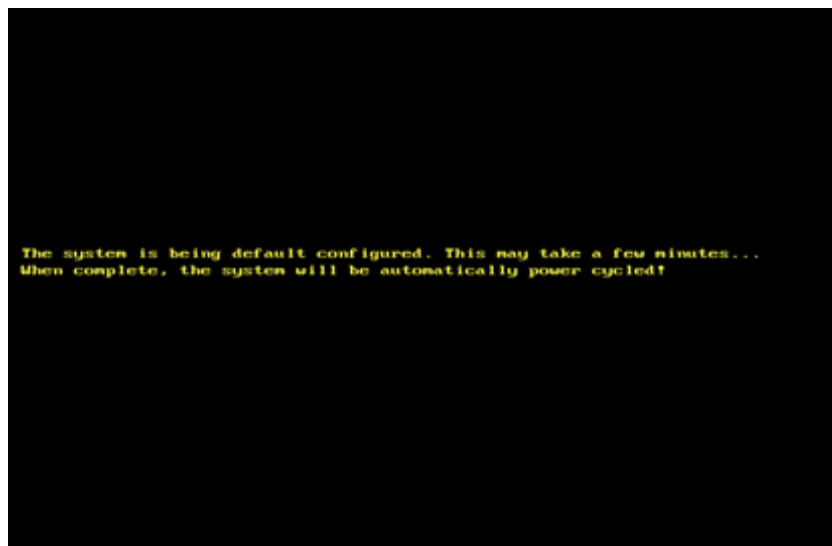
(4) DVDドライブにStarter Pack DVDをセットします。

(5) 以下の手順により、Default Manufacturing Settingsをリストアします。

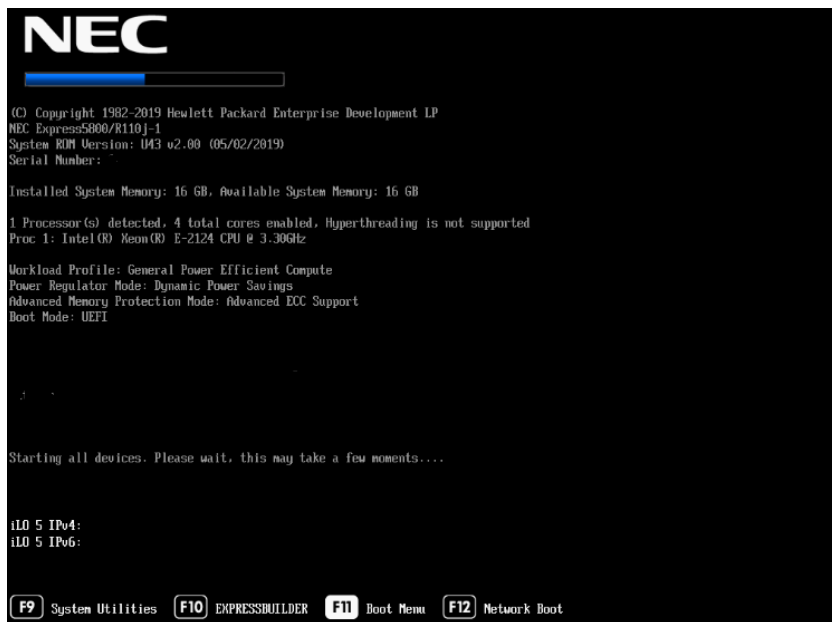
- 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Default Options」に移動します。
- 「Restore Default Manufacturing Settings」に [**Yes, restore the default settings**] を設定します。
- OKを選択し、サーバーを再起動します。



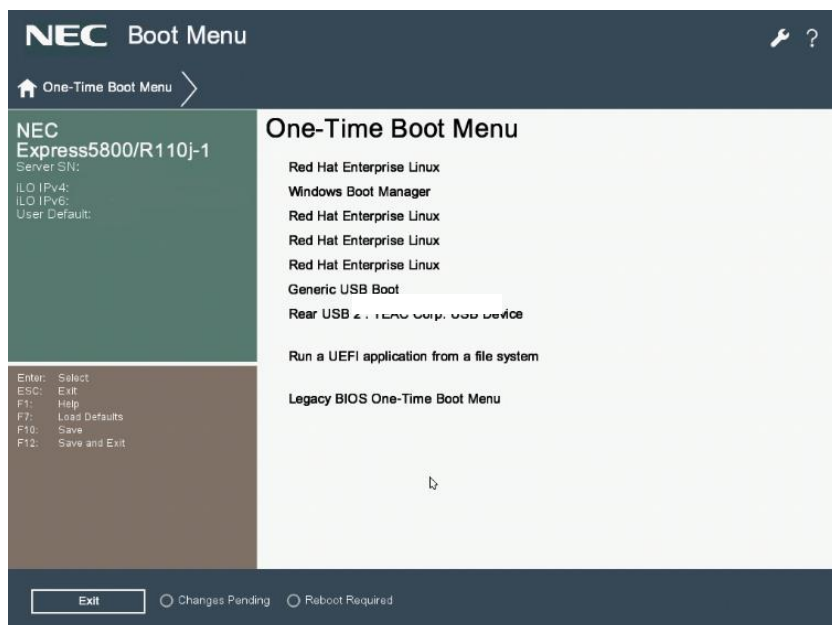
- 以下のメッセージが表示され、何度か自動でリブート(電源オフ/オン含)が繰り返される場合がありますが、POSTが起動するまで、しばらくお待ちください。



(6) 再起動後、POST中に <F11> キーを押します。



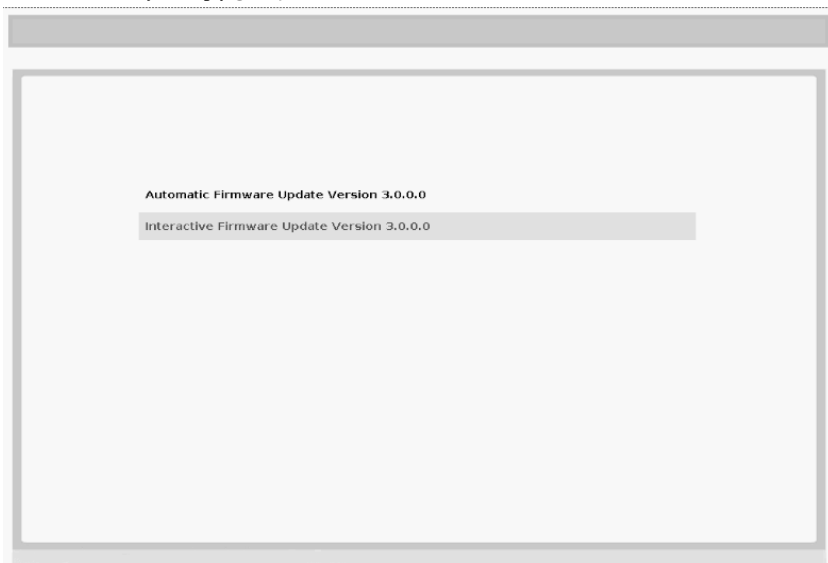
そのまま待つと、Boot Menuが表示されます。



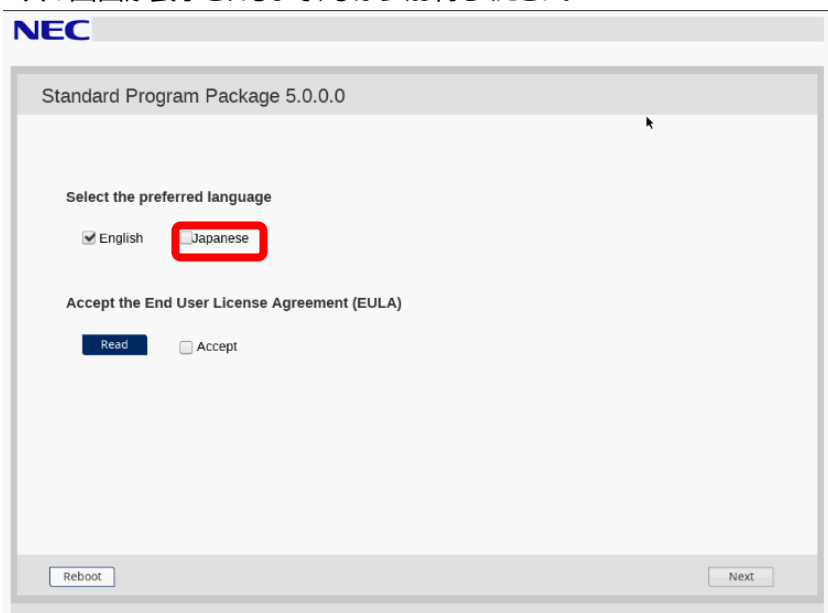
(環境によって表示が異なります)

(7) One-Time Boot Menu上で、手順(1)でセットしたDVDドライブを選択し、メニューを終了すると、サーバーが Starter Pack DVDから起動します。

以下の画面が表示されますので、10秒以内に<↓>キーを押して「Interactive Firmware Update」で<Enter>キーを押します。

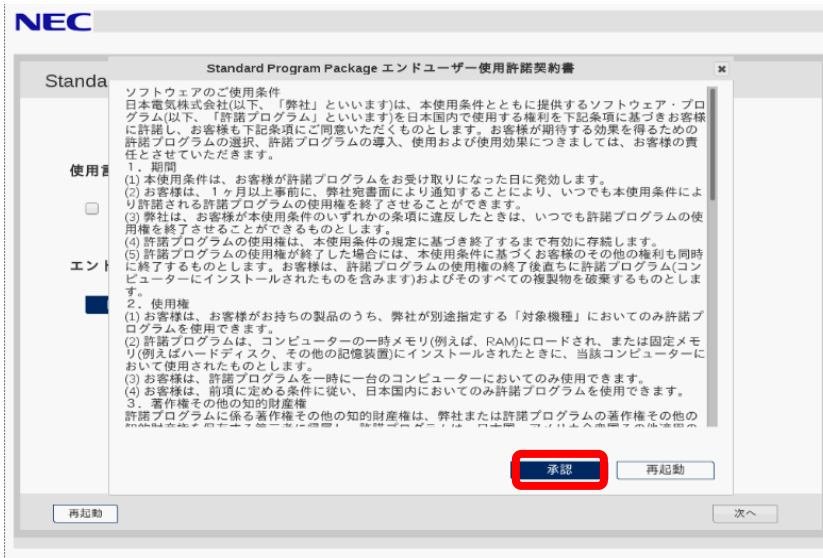


次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

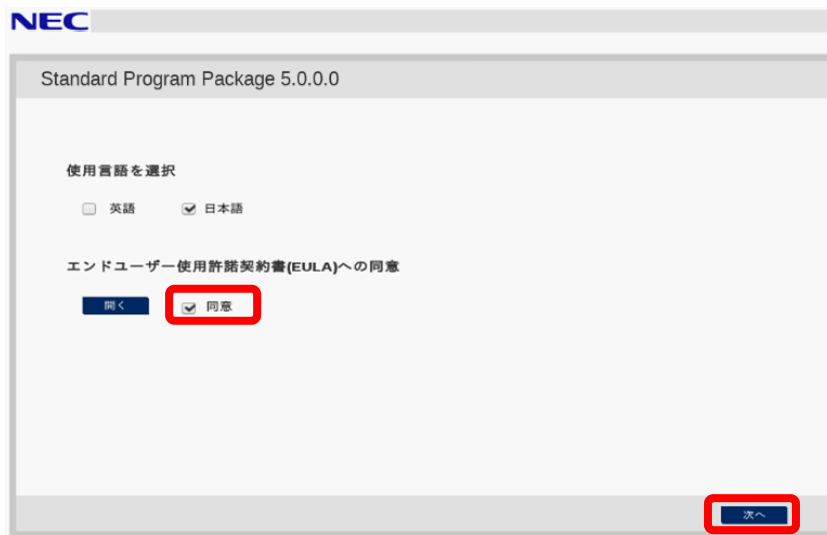


(8) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

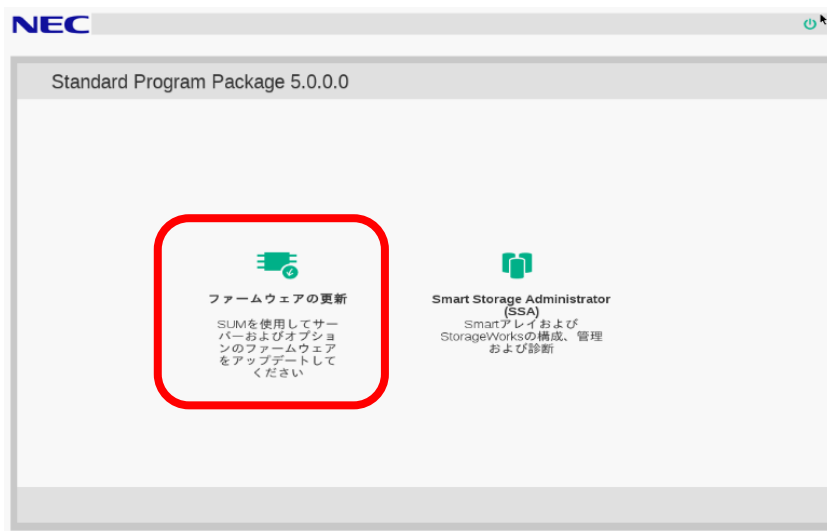
(9) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



(10) 同意のチェックを確認し、画面右下の「次へ」をクリックします。



(11)「ファームウェアの更新」を選択します。



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順1 インベントリ」が自動的に始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



画面左下の「次へ」をクリックします。

(12)「手順2 レビュー」が表示されます。

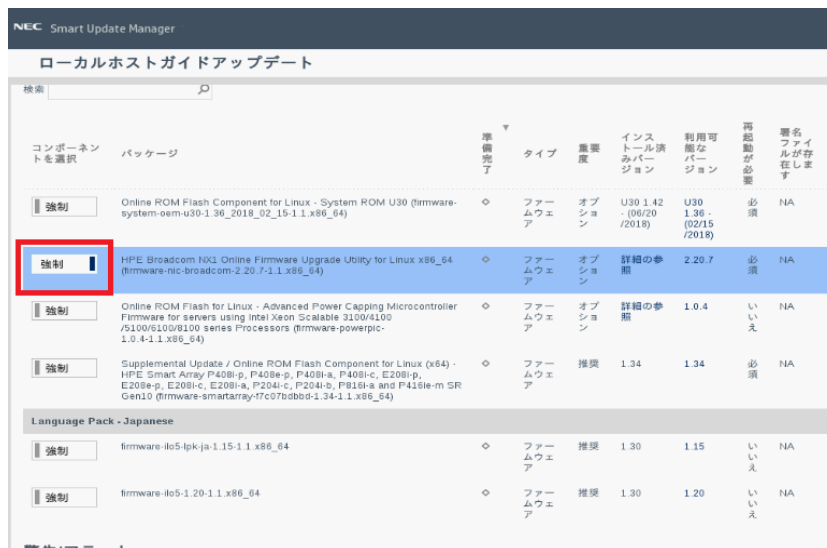
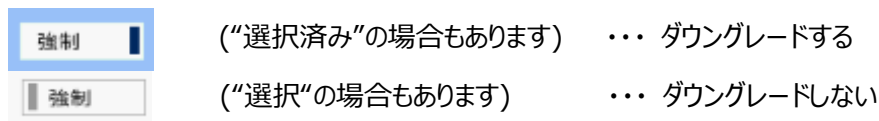


次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。



(環境によって表示されるファームウェアが異なります)

(13) ダウングレードするファームウェアを選択します。ファームウェアのパッケージ名の左側に表示されているボタンをクリックすることで選択することができます。



以下の【注意 1】に記載されているファームウェア【以外】をすべて選択してください。

【 注意1 】

以下のファームウェアのダウングレードは行わないでください。(p14-p16参照)

- System ROM
- Power Management Controller
- Server Platform Service (SPS)
- iLO5 FW、iLO5言語パック
- RAIDコントローラ
- HDD/SSD製品のファームウェア
- HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.xx.x-x.x x86_64)
例：N8104-175,-176,-184,-186実装時

【 注意2 】

RAIDコントローラファームウェアについては、**Version : 3.00**にアップデートする必要があります。

RAIDコントローラファームウェアのアップデートは、4 章で行います。

以下に示すファームウェアについては **強制** となっていること。

「System ROM」

NEC Smart Update Manager 8.4.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
強制	Online ROM Flash Component for Linux (ilo5-1.40-1.1.x86_64)						
強制	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64)						
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b0bbd-1.98-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	1.99	1.98	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U43 (firmware-system-oem-u43-1.20_2019_02_02-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	U43 1.22 - (04/04/2019)	U43 1.20 - (02/02/2019)	必須
Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel C242 and C246 PCH based systems							
強制	firmware-u43u44sps-05.00.03.107-1.1.x86_64		ファームウェア	オプション	詳細の参照	05.00.03.107	必須
強制	firmware-u43u44sps-05.00.03.107-2.1.x86_64		ファームウェア	オプション	詳細の参照	05.00.03.107	必須

「Power Management Controller」

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要	署名
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U43 (firmware-system-oem-u43-1.20_2019_02_02-1.1.x86_64)							
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.20.7-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.20.7	必須	
強制	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100 /5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpic-1.0.4-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ	NA
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b0bbd-1.98-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	1.99	1.98	必須	NA
Language Pack - Japanese								
強制	firmware-ilo5-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64		ファームウェア	推奨	1.30	1.15	いいえ	NA
強制	firmware-ilo5-1.20-1.1.x86_64		ファームウェア	推奨	1.30	1.20	いいえ	NA

「Server Platform Services」

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
強制	ilo5-1.40-1.1.x86_64		ファームウェア				いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ja-1.15-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	1.45	1.30	いいえ
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b0bbd-1.98-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	1.99	1.98	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U43 (firmware-system-oem-u43-1.20_2019_02_02-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	U43 1.22 - (04/04/2019)	U43 1.20 - (02/02/2019)	必須
Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel C242 and C246 PCH based systems							
強制	firmware-u43u44sps-05.00.03.107-1.1.x86_64		ファームウェア	オプション	詳細の参照	05.00.03.107	必須
強制	firmware-u43u44sps-05.00.03.107-2.1.x86_64		ファームウェア	オプション	詳細の参照	05.00.03.107	必須

「iLO5 FW、iLO5言語パック」

NEC Smart Update Manager 8.4.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択 パッケージ

コンポーネント	パッケージ	推奨	インストール	バージョン	状態
強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	推奨	1.45	1.40	いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	推奨	1.45	1.30	いいえ
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須

Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)

Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)

「RAIDコントローラ」

NEC Smart Update Manager 8.4.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択 パッケージ

コンポーネント	パッケージ	推奨	インストール	バージョン	状態
強制	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	推奨	1.45	1.40	いいえ
強制	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	推奨	1.45	1.30	いいえ
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b0bbd-1.98-1.1.x86_64)	推奨	1.99	1.98	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U43 (firmware-system-oem-u43-1.20_2019_02_02-1.1.x86_64)	オプション	U43 1.22 - (04/04/2019)	U43 1.20 - (02/02/2019)	必須
強制	Online ROM Flash for Linux - Server Platform Services Manageability Engine Firmware for the Intel C242 and C246 PCH based systems	オプション	詳細の参照	05.00.03.107	必須
強制	firmware-u43u44sp-05.00.03.107-1.1.x86_64	オプション	詳細の参照	05.00.03.107	必須

Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208-a, P408i-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416i-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07b0bbd-1.98-1.1.x86_64)

「HDD/SSD製品」

NEC Smart Update Manager 8.2.0

ローカルホストガイドアップデート

コンポーネントを選択 パッケージ

コンポーネント	パッケージ	推奨	インストール	バージョン	状態
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U43 (firmware-system-oem-u43-1.20_2019_02_02-1.1.x86_64)	オプション	U43 1.22 - (04/04/2019)	U43 1.20 - (02/02/2019)	必須
強制	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
強制	Online ROM Flash for Linux - Adaptive Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Intel Xeon E2200 v105 (firmware-mpc-1.0.0-1.1.x86_64)	オプション	1.0.0	1.0.0	いいえ
強制	Online ROM Flash for Linux - Adaptive Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Intel Xeon E2200 v105 (firmware-mpc-1.0.0-1.1.x86_64)	オプション	1.0.0	1.0.0	いいえ

Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U43 (firmware-system-oem-u43-1.20_2019_02_02-1.1.x86_64)

HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)

Online ROM Flash for Linux - Adaptive Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Intel Xeon E2200 v105 (firmware-mpc-1.0.0-1.1.x86_64)

Online ROM Flash for Linux - Adaptive Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Intel Xeon E2200 v105 (firmware-mpc-1.0.0-1.1.x86_64)

HDD/SSD製品は、利用可能なバージョンが以下の表示となります。

- HPD x
- HPG x
- HPS x

注) xは英数字を示します。

「HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64

(firmware-nic-intel-1.xx.x-x.x x86_64) 例 : N8104-175,-176,-184,-186実装時」

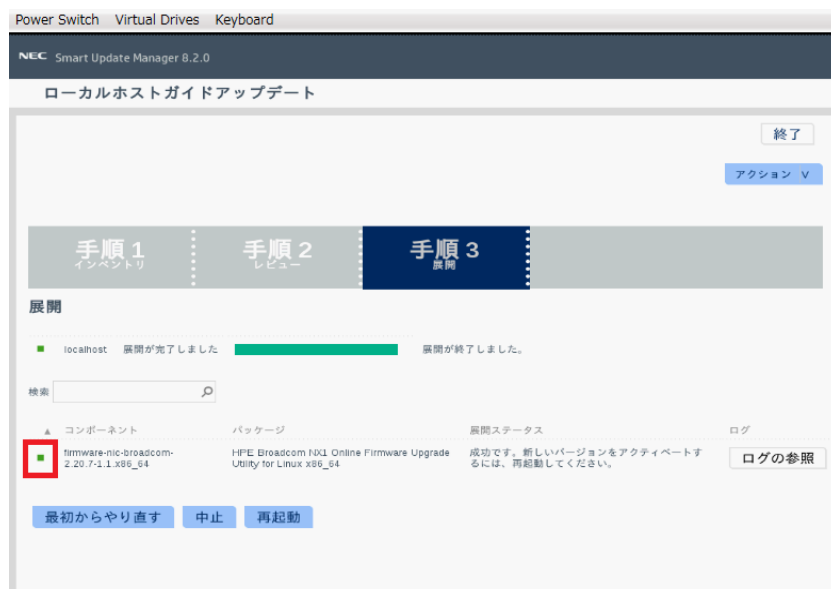


(14) 必要に応じて画面をスクロールします。選択したファームウェアがない場合は、左下の「戻る」をクリックして手順(15)に進みます。選択したファームウェアがある場合は、ウィンドウ下部の「展開」をクリックします。「手順3 展開」が始まりますので、以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



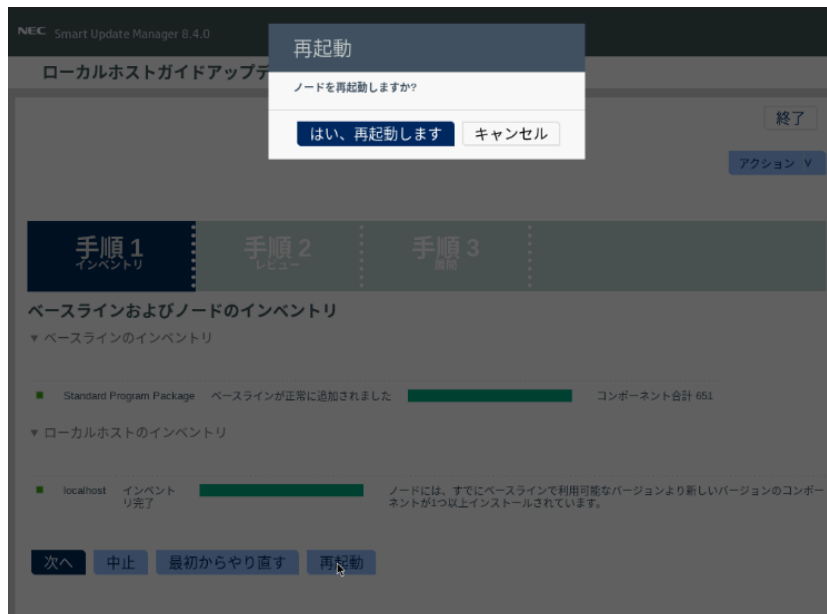
ファームウェアのダウングレードに成功したことを確認します。

次のように、各コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認します。



(15) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。

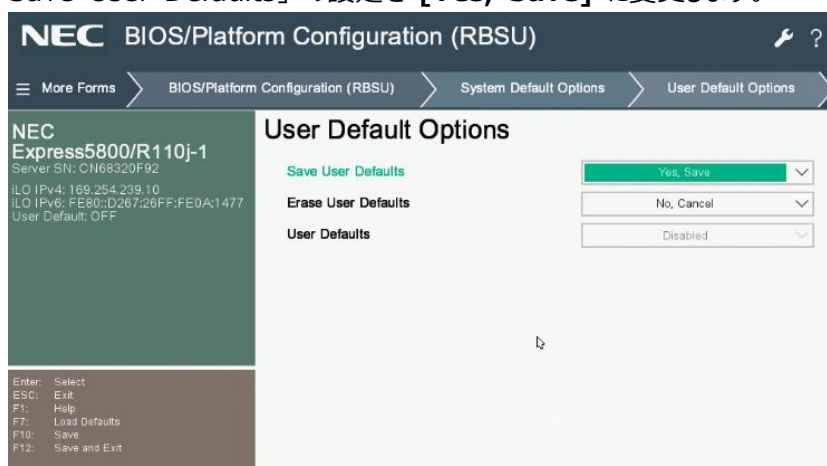
次の画面で「はい、再起動します」をクリックします。



※[はい、再起動します]を、クリックしても再起動しない場合は、右上の[終了]をクリックし、さらに右上の電源アイコンをクリックして再起動を選択してください。

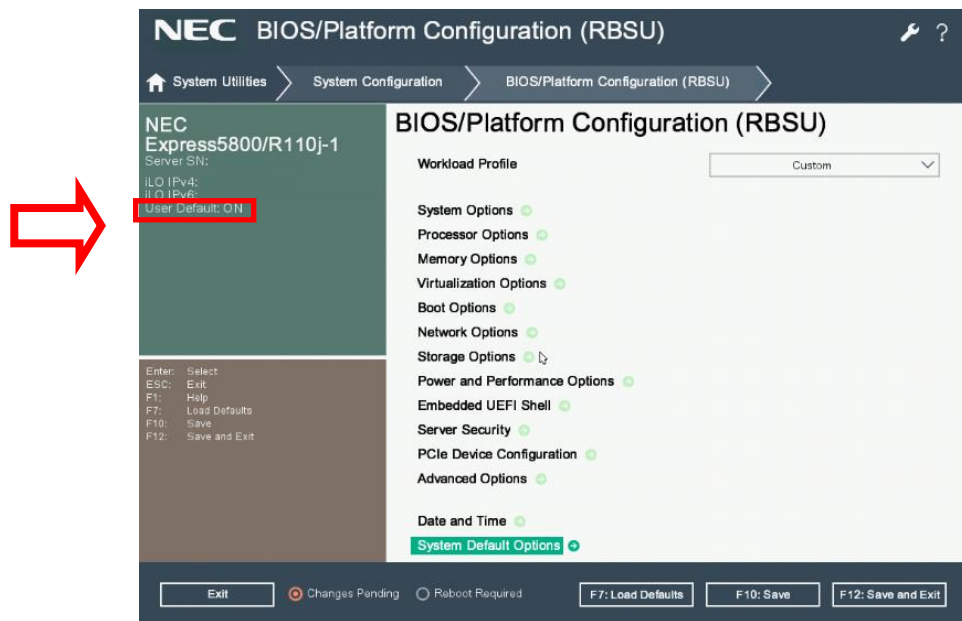
(16) 手順(1)でクリアしたUser Default設定を再設定します。

POST中に <F9> キーを押してシステムユーティリティに入り、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」以下を、**3章最初の(事前準備)**で記録した設定に再設定します。再設定後、「System Default Options > User Default Options > Save User Defaults」の設定を **[Yes, Save]** に変更します。



変更後 <F12> キーを押し、システムユーティリティを終了させ、サーバーを再起動します。

(17) 再起動後、再びシステムユーティリティを起動し、下記メッセージにより、User Defaultが有効 “ON”であることを確認します。



内蔵DVD-ROM ドライブ [N8151-137], 内蔵DVD-SuperMULTIドライブ [N8151-138]を使用時、ダウングレード後、Starter Pack DVD がDVDドライブから取り出せない場合があります。このとき、「トラブルシューティング」を参照して、DVDを取り出してください。

(18) 「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」
メニューに移動します。

(19) 必要に応じ、セキュアブートの再設定を行います。（4章を実施する場合は、(20)に進んでください）

手順(3)でセキュアブートを有効から無効に変更した場合、以下の手順にて有効に戻します。

- 「Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
- 「Attempt Secure Boot」に「Enabled」を設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

(20) その他の「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」設定

必要に応じて、手順(2)で記録した設定を参照し、手順(19)以外の「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」設定を再設定します。

設定完了後 <F10> キーを押して設定を保存します。

「Reboot the System」オプションを使ってサーバーを再起動します。

再起動後、システムユーティリティに入り設定が反映されている事を確認し、サーバーの電源をオフにします。

4章 RAIDコントローラファームウェアのダウンロードと適用

※ RAIDコントローラファームウェアのバージョンが既に**3.00**以上の場合、本章の手順は実施不要です。

Starter Pack Version S8.10-008.01またはS8.10-009.01を使用してRAIDコントローラのファームウェアを適用します。下記3点を準備します。

- インターネットに接続されたPC端末

- DVD-Rに書き込みができる光ディスクドライブ（PC端末内蔵の光ディスクドライブ可）
- DVD-R媒体1枚

注）iLOのリモートメディア機能を使用することで、DVD媒体を使用しなくてもStarter Packを適用することが出来ます。
（リモートメディア機能を利用するには、リモートマネジメント拡張ライセンス[N8115-33/-36]の購入が別途必要です）

4 章-1) Starter Pack のダウンロード

- (1) PC端末から以下のURLにアクセスし、Starter Packをダウンロードします。

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-008.01

(<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109294>)

Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-009.01

(<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109722>)

※2章、3章で使用するStarter Packとはバージョンが異なりますので、ご注意ください。

- (2) (1)のURLにアクセスできない場合は、以下URLから検索しダウンロードします。

<https://jpn.nec.com/>

(「サポート情報」-「サーバー」-「PCサーバー(Express5800シリーズ)」-「修正情報・ダウンロード」>)

“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-008.01” または

“Express5800 シリーズ Starter Pack Version S8.10-009.01” で検索

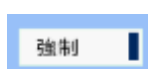
- (3) Starter Pack掲載ページの【準備: Starter Pack DVDの作成】を参照し、DVDの作成を行います。

注）Starter Packは、本体装置の保証期間内もしくは保守契約期間内(ExpressSupportPack含む)であれば、無償でダウンロードすることが出来ます。

4 章-2) RAID コントローラファームウェアの適用

- (1) 4章-1)で作成したStarter Pack Version S8.10-008.01またはS8.10-009.01のDVDを使用し、本書の3章の手順(3)～(12)(手順(5)を除く)を参考に、「手順2 レビュー」が表示されるまで手順を進めます。

- (2) 「手順2 レビュー」が表示されたら、**RAIDコントローラファームウェアのみを選択**します。またRAIDコントローラファームウェア**以外**で選択されているファームウェアがある場合は、すべて**選択を解除**します。ファームウェアのパッケージ名の左側に表示されているボタンをクリックすることで選択または選択を解除することができます。



(“選択済み”の場合もあります)・・・ **RAIDコントローラファームウェア**



(“選択”の場合もあります)・・・ **RAIDコントローラファームウェア**以外****

「RAIDコントローラファームウェア」



Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, P408i-c, E208i-p, E208e-p, E208i-c, E208i-a, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416ie-m SR Gen10 (firmware-smartarray-...)

注) Starter PackS8.10-009.01 でファームウェアを適用する場合、適用時にバージョンが 3.53 と表示されますが、バージョン 3.00 が適用されます。

(3) ウィンドウ下部の「展開」をクリックします。「手順3 展開」が始まります。

(4) しばらく待つと、以下の「展開が完了しました」が表示されます。

RAIDコントローラファームウェアのコンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認して適用が成功したことを確認します。



(5) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。

次の画面で「はい、再起動します」をクリックします。

※[はい、再起動します]を、クリックしても再起動しない場合は、右上の[終了]をクリックし、さらに右上の電源アイコンをクリックして再起動を選択してください。

(6) 必要に応じ、セキュアブートの再設定を行います。

手順(1)で参照した本書の3章の手順(3)でセキュアブートを有効から無効に変更した場合、以下の手順にて有効に戻します。

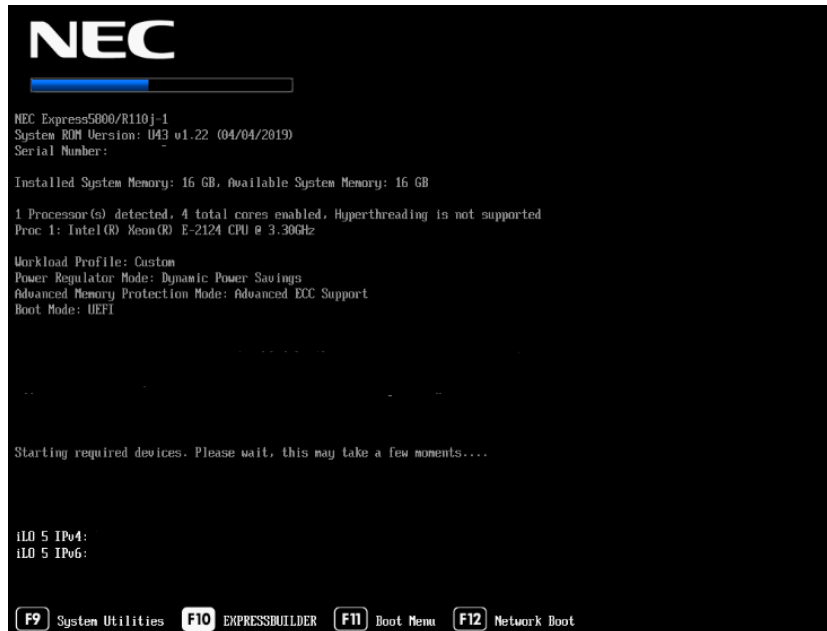
- 「Server Security > Secure Boot Settings」に移動します。
- 「Attempt Secure Boot」に「Enabled」を設定します。
- <F10> キーを押して設定を保存します。

以上で作業は完了です。

トラブルシューティング

ダウングレード後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

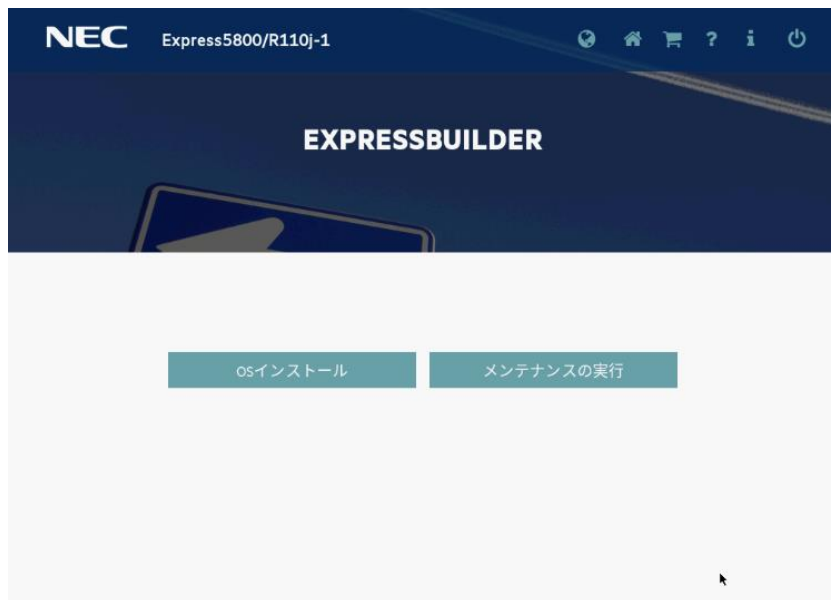
- (1) 電源のオフ、オン、または、<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを行い、サーバーを再起動します。
次のように、POSTが始まります。



- (2) POST画面でF10キーを押します。次の画面が表示されます。



- (3) メニューの「Provisioning」を選択します。何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。
- (4) EXPRESSBUILDER起動後、DVDドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVDを取り出します。



(5) 「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
6	2021 年 7 月 19 日	RAID ファームウェア更新用 StarterPack 情報更新
5	2020 年 12 月 25 日	ファームウェア情報更新
4	2020 年 6 月 19 日	RAID ファームウェアバージョン最新化
3	2020 年 2 月 14 日	手順変更
2	2020 年 1 月 10 日	記載修正
1	2019 年 12 月 26 日	初版

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	: ファーストコンタクトセンター
T E L	: 0120-5800-72
受付時間	: 9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日（祝日、弊社休日を除く）
※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。	